

# 黒田賞受賞講演

## 鳴禽類の歌行動の進化: ジュウシマツから系統種間比較へ

相馬 雅代 (北海道大学大学院理学研究院生物科学部門)

日時: 9月19日 11:15-12:00

場所: 全学共通棟810教室

## 口頭発表

### 17日午前 A会場(812教室)

開始時刻	タイトル	発表者
9:00	A01 管理強度の異なる農地境界植生における鳥類相の比較(予報)	○森さやか(国立科学博物館・分子生物多様性), 紺野康夫(帯広畜産大学・畜産生命)
9:15	A02 シカの過密状況下における森林性鳥類群集～北海道洞爺湖中島の事例～	○玉田克巳(道総研), 石下亜衣紗, 吉田剛司(酪農大)
9:30	A03 森林性鳥類のさえずりパターン: 長期モニタリング手法の検討	○黒沢令子, 植田睦之(バードリサーチ), 斎藤馨(東大院新領域創成科学), 石田健(東大院生物圏情報学)
9:45	A04 「猛禽類保護の進め方」はなぜ無視されたのか? (三重県伊賀市の事例などから)	○武田恵世(日本野鳥の会・三重県)
10:00	A05 山階鳥類研究所が保有する1961～1971年の標識調査情報について	○出口智広, 吉安京子, 尾崎清明(財団法人 山階鳥類研究所)
<b>10:15</b>		<b>休憩</b>
10:30	A06 DNAバーコーディングとミトコンドリアゲノム全塩基配列	齋藤武馬(山階鳥類研究所), 山本義弘(兵庫医科大学), 小林さやか(山階鳥類研究所), 染谷さやか(国立科学博物館), 岩見恭子, ○浅井芝樹(山階鳥類研究所), 西海功(国立科学博物館)
10:45	A07 鳥類の脳におけるサイズ変化に伴う形態変化	○河部壮一郎(学振DC2・東大院理, 東大博), 遠藤秀紀(東大博), 下川哲哉(愛媛大院医), 三木均(愛媛大院医), 松田正司(愛媛大院医)
11:00	A08 ジオロケータを用いたブッポウソウとマミジロの渡り追跡	○仲村昇, 佐藤文男, 尾崎清明(山階鳥類研究所), 桐原佳介, 土居克夫, 土井安彦, 原徹(日本鳥類標識協会), 飯田知彦(広島県教育委員会), 菊池博(横浜市立野毛山動物園)
11:15	A09 ウミネコにおける非繁殖期の渡りの経路と越冬域	○富田直樹(名城大農, 山階鳥研), 水谷友一(名大院環境), 新妻靖章(名城大農)

17日午前 B会場 (813教室)

開始時刻		タイトル	発表者
9:00	B01	年3回換羽するライチョウの換羽時期と様式	○西野優子, 中村浩志(信大・教育・生態研)
9:15	B02	ニホンライチョウの山岳集団による繁殖生態の違い	○小林篤, 中村浩志(信州大学教育学部・生態学研究室)
9:30	B03	ライチョウの越冬期の生態	○中村浩志, 小林篤(信州大学教育学部・生態研究室)
9:45	B04	岡山県吉備中央町におけるブッポウソウの繁殖生態	○水野聖子(岡山大・院・自然), 峯光一((株)南西環境研究所), 木村裕一(日本鳥類標識協会), 山田明代, 三枝誠行(岡山大・理)
10:00	B05	鳴き声観察および録音によるヤイロチョウの繁殖ステージの推定 (副題: 音声観察・録音の可能性)	○合田延寿(日本鳥学会会員, 日本野鳥の会会員)
10:15		休憩	
10:30	B06	ヤマドリ繁殖スケジュール(求愛期、交尾期、産卵期、家族期、換羽期)におけるホロ打ちの生態について。	○高橋松人(三重自然誌の会)
10:45	B07	札幌市街地で営巣するハシブトガラスのヒナは巣立ち後どれくらい親元に留まるのか?	○中村真樹子(札幌カラス研究会), 竹中万紀子(東海大学幌校舎生物理工学部)
11:00	B08	市街地高圧鉄塔でのハヤブサの狩り	○溝田浩美(ひとはく地域研究員)
11:15	B09	なまけものには種子もつかない～小笠原諸島における海鳥の付着型種子散布～	○青山夕貴子(東北大・院生命), 川上和人(森林総研)

## 17日午後 A会場 (812教室)

開始時刻		タイトル	発表者
13:00	A10	ハシボソミズナギドリの南北渡りと利用海域	○綿貫豊, 伊藤淳郎(北大・水産), C. Meathrel(ラトローブ大学), R.A. Phillips(英国南極局)
13:15	A11	九州で繁殖するサシバは、なぜ春に遠回りの経路を渡るのか?	○菅澤承子(東大・農), 山口典之(長崎大・環境科学), 杉本剛(神奈川大・工), 樋口広芳(東大・農)
13:30	A12	ハチクマの年による渡り経路の違い	○樋口広芳, 土方直哉, 平岡恵美子(東大・農), 時田賢一(我孫子市鳥博), 山口典之(長崎大・環境科学), 内田聖(里山自然史研), 中山文仁(自然環境研), 植松晃岳, 久野公啓, 佐伯元子(信州タカ渡り研), 堀田昌伸(長野県環境保全研)
13:45	A13	A mirror in the equator? Migratory species richness of birds in Australia and East Asia	○Yi-Liang Kuo, Tzung-Su Ding (School of Forestry and Resource Conservation, National Taiwan University)
14:00	A14	足環レベルの地球端末と次世代データ収集衛星の基礎的検討	○北野利彦, 中島功, 十蔵寺寛(東海大学), 山口功, 中島厚(JAXA)
<b>14:15</b>			<b>休憩</b>
14:30	A15	オオタカメスの繁殖場所へのこだわり	○大堀聰(早稲田大学自然環境調査室), 内田博(比企野生生物研究所)
14:45	A16	山のカラス・里のカラス 植生・標高が分布に与える影響	○松原始 <sup>1</sup> , 森下英美子 <sup>2</sup> , 森田真木 <sup>2</sup> , 近藤陽子 <sup>2</sup> , 郷彩夏 <sup>2</sup> , 星野麗音 <sup>2</sup> , 細谷貴史 <sup>2</sup> , 野口淳志 <sup>2</sup> , 漆戸香澄 <sup>2</sup> , 染谷美希 <sup>2</sup> , 中山智晴 <sup>2</sup> (1:東大総合研究博物館 2:文教学院大・環境教育)
15:00	A17	電柱、館(かん)あり	○三上修(岩手医大・共通教育), 加藤貴大(立教大・理), 三上かつら(バードリサーチ), 松井晋(立教大・理), 笠原里恵(立教大・理), 森本元(立教大・理, 国立科博・動物, 東邦大・東京湾生態セ), 上田恵介(立教大・理)
15:15	A18	オオトラツグミはなぜ林齢の高い森林を選好するのか	○水田拓(環境省奄美野生生物保護センター)
15:30	A19	Assessing Potential Habitat for Wintering Red-crowned Crane ( <i>Grus japonensis</i> ) in the DMZ (demilitarized zone) based on Habitat Suitability Analysis in Cheorwon, Gangwon Province, Korea	○Lee, WOO SHIN (Seoul National University)
15:45	A20	2010年秋期の佐渡島における、放鳥トキの1日の環境利用 ～群れのとくと、単独のとくと～	○中津弘, 上野裕介, 永田尚志, 山岸哲(新潟大朱鷺・自然再生学研究センター)
<b>16:00</b>			<b>休憩</b>
16:15	A21	伊豆沼・内沼におけるガンカモ類の給餌へのエネルギー依存率の推定と給餌縮小の影響	○嶋田哲郎, 藤本泰文((財)宮城県伊豆沼・内沼環境保全財団)
16:30	A22	日本における鳥インフルエンザのリスクマップ	○森口紗千子, 大沼学, 五箇公一(国環研)
16:45	A23	北海道におけるタンチョウの水銀汚染について	○寺岡宏樹, 岡本絵梨佳, 北澤多喜雄(酪農大・獣医), 正富宏之(NPO・タンチョウ保護研究部グループ)
17:00	A24	鳥海山で発見された鳥類の大量死	○岩見恭子(山階鳥類研究所), 大木庸子(猛禽類保護センター), 村田野人
17:15	A25	声が出ないオオセッカ	○高橋雅雄(立教大・理・動物生態), 蛭名純一, 宮彰男(NPOおおせっからんど)
17:30	A26	Does Nesting hematocrit level reflect body condition in magpies?	○Won Young Lee, Sang-im Lee, Piotr Jablonski(生命科学部, ソウル大学), Jae Chun Choe(エコ科学部, 梨花女子大学)

17日午後 B会場 (813教室)

開始時刻		タイトル	発表者
13:00	B10	コロニーからのカワウ出入りパターンの季節変化と食物変動の関係	○熊田那央, 藤岡正博(筑波大・生命環境)
13:15	B11	個体数レベルが変化した場合でのツバメによる食物分布への大スケール反応	○藤田剛, 樋口広芳(東大・農・生物多様性)
13:30	B12	Why do parent birds synchronize nest visits to feed chicks?	○Byoung-Soon Jang, Jin-Won Lee, Hee-Yoon Kim, Sang-Im Lee, Piotr Jablonski(生命科学部, ソウル大学)
13:45	B13	ハイガシラゴウシュウマルハシの採餌習性--野火の影響--	○江口和洋(九大院・理・生物)
14:00	B14	巣箱利用におけるルリカケスの親鳥の巣箱滞在時間と行動からみた役割分担の可能性	○谷智子(帝京科学大学・生命環境), 石田健(東京大学), 森貴久(帝京科学大学), 高美喜男(奄美野鳥の会)
14:15		休憩	
14:30	B15	トキの採餌環境選択における意志決定モデル	○遠藤千尋, 永田尚志(新潟大・朱鷺・自然再生学研究センター)
14:45	B16	シカ増加にともなう屋久島西部照葉樹林の鳥類種構成変化	○野間直彦(滋賀県立大・環境), 幸田良介(京大・生態研), 辻野亮, 湯本貴和, 藤田昇(総合地球研)
15:00	B17	大西洋におけるアホウドリ類・ミズナギドリ類の混獲分布	○井上裕紀子(遠水研・混獲生物G), 余川浩太郎(遠水研・まぐろ漁業資源G), 南浩史, 越智大介, 佐藤成祥, 勝又信博(遠水研・混獲生物G)
15:15	B18	佐渡における放鳥トキの野外繁殖の顛末	○永田尚志, 中津弘, 上野祐介, 山岸哲(新潟大学・朱鷺・自然再生学研究センター)
15:30	B19	人工巣捕食実験による森林生態系の健全性評価: 沖縄やんばるの森の地上はどのくらい安全な産卵環境か?	○小高信彦(森林総研・九州), 渡久地豊(工房リュウキュウロビン)
15:45	B20	ルリカケス個体群の保全 ~ 希少種保全の課題と一般化 ~	○石田健(東京大学), 村田浩一(日本大学), 西海功(国立科博), 高美喜男(奄美野鳥の会), 高橋幸裕(上野動物園)
16:00		休憩	
16:15	B21	ネズミ類駆除による海鳥のコロニー保護の効果について	○飯田知彦(広島県教育委員会), 渡辺伸一(福山大学)
16:30	B22	絶滅が、ネズミと共にやってくる	○川上和人(森林総研), 青山夕貴子(東北大院), 堀越和夫, 鈴木創, 千葉勇人(小笠原自然文化研究所)
16:45	B23	聳島・小笠原群島・火山列島のウグイスの未来	○栄村奈緒子(立教大・理), 安藤温子(京大・農), 川上和人(森林総研), 出口智広(山階鳥研), 古谷亘(小笠原エコツーリズムリゾート), 井鷲裕司(京大・農)
17:00	B24	デカイ卵の謎: ジュウイチの青い卵	○田中啓太(立教大・理・生命理学), 森本元(国立科学博物館), 佐藤望(立教大院・理・生命理学), 上田恵介(立教大・理・生命理学)
17:15	B25	各宿主へのカッコウの托卵と各宿主のカッコウ(卵)への反応の違い	○今西貞夫(東京都国分寺市)
17:30	B26	ツツドリによるヤブサメへの托卵と攻撃行動	○上沖正欣, 上田恵介(立教大院・理・動物生態), 川路則友(森林総研北海道)

## 18日 A会場 (812教室)

開始時刻		タイトル	発表者
9:00	A27	カラスはどこだ？ヘビはどこ？捕食者の種類を伝えるシジュウカラの警戒声	○鈴木俊貴(立教大・理・動物生態)
9:15	A28	雛の補食リスクはつがい外父性にどのように影響するか？	○油田照秋(北大・環境科学院), 小泉逸郎(北大・創成)
9:30	A29	抱卵中のハシブトガラス番いのオスによる"Nest Guarding Behavior"について	○竹中万紀子(東海大学札幌校舎生物理工学部)
9:45	A30	House wrens versus great tits: differences in aggressiveness between two Northern Hemisphere cavity nesting passerine species	○Craig Barnett (Department of Life Science, Rikkyo University)
10:00	A31	ウミネコが肥やす磯: 糞由来窒素が営巣地直下の磯の海藻, 植物プランクトン, および固着生物におよぼす影響	○風間健太郎, 都築一秀, 早川未祐, 村野宏達(名城大・農), 藤井英紀(名古屋大・院環境), 佐藤雅彦(利尻町立博物館), 溝田智俊(岩手大・農)
<b>10:15</b>		<b>休憩</b>	
10:30	A32	カワウが肥やす水田: 営巣地に隣接する水田において糞由来窒素が草本類に与える影響	風間健太郎, ○都築一秀, 早川未祐, 村野宏達, 新妻靖章(名城大・農), 溝田智俊(岩手大・農)
10:45	A33	センサスの信頼性再訪: センサスと捕獲データの比較	○濱尾章二(国立科学博物館・自然教育園)
11:00	A34	Migratory Bird Treaties: Its Issues and Potentials	○Mitsuhiko A. Takahashi (Univ. Toyama)
11:15	A35	野鳥生態写真の先駆者 下村兼史資料の整理保存	塚本洋三 <sup>1</sup> , 廣田美枝 <sup>1</sup> , ○平岡考 <sup>1</sup> , 吉田成 <sup>2</sup> , 鶴見みや古 <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> 山階鳥類研究所, <sup>2</sup> 東京工芸大学)

18日 B会場 (813教室)

開始時刻		タイトル	発表者
9:00	B27	ハシブトガラス亜種間の形態比較, 係数倍による比較は妥当か?	○中村純夫
9:15	B28	矮小型と呼ばれるクロジ <i>Emberiza variabilis kurodai</i> の分類学的再検討	○梶田学, 梶田あまね
9:30	B29	亜種ヒバリ <i>Alauda arvensis japonica</i> の遺伝構造と鹿児島ヒバリ <i>A. a. kagoshimae</i> の復活について	○白木彩子(東農大・生物産業), 上田恵介(立教大・理), 吉川欣亮(都医学総研), 茂田良光(山階鳥研)
9:45	B30	ミズナギドリ類の翼形状の性的二型は生態的な性差を説明するか?	○新妻靖章(名城大学農), 白井正樹(名古屋大学院), 土屋健児(名城大学院), 岡奈理子(山階鳥類研究所)
10:00	B31	Why and when do the birds use alula?	○Sang-im Lee, Piotr Jablonski(生命科学部, ソウル大学), Hyungmin Park, Haecheon Choi(機械航空工学部, ソウル大学)
10:15		休憩	
10:30	B32	ハシブトガラスにおける“声”と“姿”を統合した他個体の認知	○近藤紀子, 伊澤栄一, 渡辺茂(慶応大学・人文GCOE)
10:45	B33	カイツブリの水中における首振り行動の特徴	○郡司芽久(東大農・生物多様性), 藤田祐樹(沖縄県立博物館), 樋口広芳(東大農)
11:00	B34	イカルテドリが離婚を考える時	○内田博(比企野生生物研究所)
11:15	B35	一級河川天竜川の下流中州におけるコアジサシの繁殖戦略とその破綻—40年の繁殖の歴史から見たこと—	○北川捷康(静岡県渡り鳥研究会)